第二章

自動車事業の 立ち上げ

(豊田喜一郎の立志から挙母工場竣工まで)

Chapter 2

Launch of automotive business

(From Kiichiro Tovoda' s resolve to the establishment of Koromo Plant)

1923年の関東大震災後、自動車の需要が高まった日本 市場に注目し、1925年にフォード社が、1927年にGM 社が日本に進出。豊田佐吉の長男・喜一郎は、このまま では日本の自動車市場が米国メーカーに占有されてし まうと、強い危機感を抱きます。G里自動織機が海外で 高い評価を受け、英国のブラット社と特許権譲渡契約を 結んだことに自信を深めた喜一郎は、自動車事業への進 出を決意、高い目標を掲げて自動車づくりに適進しまし た。ここで作られた各部門が後に独立し、グルーブ形成 の基盤となっていきます。

また日本近代化の機運が高まる中、後にトヨタグループ に合流する会社もいくつか起業し、近代化を牽引してい きます

After the Great Kanto Earthquake, Ford and GM payed attention to Japan's potential market for automobile industry and launched in Japan each in 1925,1927.

Kiichiro Toyoda, the son of Sakichi Toyoda, was strongly worried about being monopolized by US car manufacturers, if we do not do anything. He decided to make inroads into the automotive manufacture business and went forward with setting his sights high, after he had confidence from the patent transfer agreement with the UK company, Platt Brothers & Co., Ltd. caused by that Type G automatic loom obtained world reputation.

He also launched many other departments one after another which later developed into today's Toyota Group companies.

Amid the growing modernization in Japan, several companies which later joined Toyota Group were also set up and took the lead in the modernization.

欧条のら始まったモータリゼーションの設め、 日本に押し寄せてきた時代です。20世紀初頭 には、日本初の自動性もお目以えしました。 関連大定災後の復興にに、海外トラック およ 近海・東川中で公立立した小型・スケト活躍 し、フォード、GMのフックゲント元の製造工 場を刊本日中でも立ち上がかます。 日本日家としても、自動車産業に本気で取り

1886年 ペンツ(独)三輪ガソリン車完成、ダ イムラー(独)四輪ガソリン車完成 1895年 世界初の自動車ショー(仏)開催

動車を製作 1898年 日本に初めて自動車が上陸(ゼ ナール・エ・ルヴァッソールM4)

1904年 日露戦争勃発(~1905年9月) 1907年 「国産古田式:通称タクリー号」デ 成(日本初のガソリン自動車)

1908年 1至72年十分元(末) 1914年 快進社自動車工場、国産采用車「DAT号」完成 第一次世界大戦勃発(~1918年 11日)

知一人世界人事の近(~1316年
 11月)

1918年 軍署工業動員法・軍用自動車補助法
東京に初のガソリンスタンド誕生

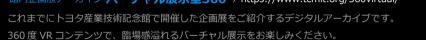
運行開始 日本フォード社、横浜に設立 1927年 日本GM社、大阪に設立

金融恐惧的よる 1929年 石川島自動車製作所、東京瓦貯 気工業、グット自動車製造の3社: 軍用保護会社となる

933年 日本、国際連盟を阪退 935年 日産、横浜工場で組立第1号車 「ダットサン」完成



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > https://www.tcmit.org/360virtual/ これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介するデジタルアーカイブです。





当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。 Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.